

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年8月1日

事業所名

発達支援センターはる 児発

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		年齢や活動水準に合わせてスペースを確保しています。	からだの支援とグループ支援と個別指導の部屋を用意しています。
	②	職員の配置数は適切である	○		常勤換算を2名以上超えるスタッフで対応しています。	職員の専門性に基づいて配置などは行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		場所に仕切りやスペースを作り活動しやすいようにしています。	施設はバリアフリーとなっており、乳幼児からからだの不自由な子どもたちまで、対応が可能です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清潔保持に努め安全面の配慮も行っていきます。	継続していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的な会議を実施し、意見聴取に努めています。	継続していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価を実施し意見を聞きながら今後の運営に生かせるよう努めています。	継続していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者評価は事業所の通信で公開しています。	自己評価については、内部での意思確認を行い、今後事業所内掲示による公開を行うこととします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			必要性が出た時に今後検討いたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間研修計画に基づき新人教育のほか、専門職員の研修を行っています。	情報収集に努め職員の資質の向上に努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		客観的なツールとして発達検査などを実施しています。	継続していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ツールのバリエーションを保ち専門職員が実施しやすい環境にしています。	継続していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに遵守しながら、専門職員のアセスメント結果なども盛り込んだ内容にしています。	継続していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々の振り返りや反省、グループごとの打ち合わせなどを通じて確認しながら実施しております。	継続していきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別指導、グループ指導を通じて支援の方向はチームで検討し実施しています。	継続していきます。職員が不在の時には会議録に記入し共有できるように図っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間計画を作成し、個別指導、グループ指導を通じて支援の方向はチームで検討し実施しています。	継続していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		1人1人の状況と必要性に基づき活動内容や療育内容を考え、個別支援計画に明記しています。	継続していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育開始時間の始業開始と午後の開始時間2回実施しています。	継続していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		反省などの振り返りを行っています。	パートで退勤職員には、後日情報伝達が可能となるように配慮しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		実施しています。	継続していきます。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		実施しています。	継続していきます。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が担当職員の出席を行うように努めていますが、日程が合わない場合は、他の職員の出席も行っています。	継続していきます。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		5歳児相談・子育て会議・その他子どもに関わる情報提供の場に参画しています。	継続していきます。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		他の機関との連携は必要に応じて整えております。	継続していきます。	

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	現在医療的ケアの必要な子はいませんが、摂食嚥下などの支援には、医療機関の情報を得て、連携し体制を整えております。	継続していきます。	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	情報交換、サービス調整会議・ケース会議を企画したり、招へいにも応じて参加しています。	継続していきます。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	情報交換、サービス調整会議・ケース会議を企画したり、招へいにも応じて参加しています。	継続していきます。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	必要に応じて実施しています。	継続していきます。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	保育園の地域開放の行事に参加することがあります。	継続していきます。	
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	子ども部会への参加など、協力しています。	継続していきます。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳や電話、直接の面談を通じて実施しています。	継続していきます。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	保護者支援は、実際に体験したことや発達の視点から文献学習などを実施し、レクチャーなどで実施しています。	継続していきます。	
	保護者との説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に利用の説明に基づいて実施しています。	継続していきます。
		㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	実施しています。	継続していきます。
㉚		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	連絡帳や通信などで広くお知らせしたり、個別に情報を伺いながら助言する機会を設けています。	継続していきます。	
㉛		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	既存の会などへの協力をしています。	継続していきます。	
㉜		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	迅速な対応を心がけております。	継続していきます。	
㉝		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月欠かさず通信を発行しています。また、別紙で予定表の提出もお願いしております。	継続していきます。	
㉞		個人情報の取扱いに十分注意している	○	職員の規定を設けマニュアルも作成し実施しております。	継続していきます。	
㉟		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	情報が伝達しやすいように視覚情報や紙面など個々に合った方法を取り入れたりしています。	個別的な配慮と対応を心がけてまいります。	
㊱		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	行事のお楽しみ会については地域の方の参加の呼びかけも行うことしていましたが、コロナ過で実現できていません。	開設後7年になったので今後どのような事業が可能か検討していきたいと考えています。	
非常時等の対応		㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	実施しています。	継続していきます。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	実施しています。	地震火事など状況に合わせて実施しています。	
	㊴	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	契約時に聞き取りを実施し、状況が変わったときにはその都度確認しています。	継続していきます。	
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約時に確認を行っています。	継続していきます。	
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	紙面での報告を義務とし、会議等で、報告しています。	紙面は、ファイリングしています。	
	㊷	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	実施しています。	継続していきます。	
	㊸	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	実施しています。	継続していきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年8月1日

事業所名

発達支援センターはる ぽてい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		年齢や活動水準に合わせてスペースを確保しています。	からだの支援とグループ支援と個別指導の部屋を用意しています。
	②	職員の配置数は適切である	○		常勤換算を2名以上超えるスタッフで対応しています。	職員の専門性に基づいて配置などは行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		場所に仕切りやスペースを作り活動しやすいようにしています。	施設はバリアフリーとなっており、からだの不自由な子どもたちへの対応をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的な会議を実施し、意見聴取に努めています。	継続していきます。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価を実施し意見を聞きながら今後の運営に生かせるよう努めています。	継続していきます。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者評価は事業所の通信で公開しています。	自己評価については、内部での意思確認を行い、今後事業所内掲示による公開を行うこととします。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			必要性が出た時に今後検討いたします。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間研修計画に基づき新人教育のほか、専門職員の研修を行っています。	情報収集に努め職員の資質の向上に努めます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		客観的なツールとして発達検査などを実施しています。	継続していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		ツールのバリエーションを保ち専門職員が実施しやすい環境にしています。	継続していきます。
適切な支援の提供	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達ガイドラインに遵守しながら、専門職員のアセスメント結果なども盛り込んだ内容にしています。	継続していきます。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々の振り返りや反省、グループごとの打ち合わせなどを通じて確認しながら実施しております。	継続していきます。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別指導、グループ指導を通じて支援の方向はチームで検討し実施しています。	継続していきます。職員が不在の時には会議録に記入し共有できるように図っています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間計画を作成し、個別指導、グループ指導を通じて支援の方向はチームで検討し実施しています。	継続していきます。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		1人1人の状況と必要性に基づき活動内容や療育内容を考え、個別支援計画に明記しています。	継続していきます。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育開始時間の始業開始と午後の開始時間2回実施しています。	継続していきます。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		反省などの振り返りを行っています。	パートで退勤職員には、後日情報伝達が可能となるように配慮しています。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		実施しています。	継続していきます。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		実施しています。	継続していきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が担当職員の出席を行うように努めますが、日程が合わない場合は、他の職員の出席も行っていきます。	継続していきます。
関係機関	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		5歳児相談・子育て会議・その他子どもに関わる情報提供の場に参画しています。	継続していきます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		他の機関との連携は必要に応じて整えております。	継続していきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアの必要な子はいませんが、摂食嚥下などの支援には、医療機関の情報を得て、連携し体制を整えております。	継続していきます。

や保護者との連携	②4	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	情報交換、サービス調整会議・ケース会議を企画したり、招へいにも応じて参加しています。	継続していきます。
	②5	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	情報交換、サービス調整会議・ケース会議を企画したり、招へいにも応じて参加しています。	継続していきます。
	②6	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	必要に応じて実施しています。	継続していきます。
	②7	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	保育園の地域開放の行事に参加することがあります。	継続していきます。
	②8	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	子ども部会への参加など、協力しています。	継続していきます。
	②9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳や電話、直接の面談を通じて実施しています。	継続していきます。
	③0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○	保護者支援は、実際に体験したことや発達の視点から文献学習などを実施し、レクチャーなどで実施しています。	継続していきます。
保護者との説明責任等	③1	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に利用の説明に基づいて実施しています。	継続していきます。
	③2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	実施しています。	継続していきます。
	③3	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	連絡帳や通信などで広くお知らせしたり、個別に情報を伺いながら助言する機会を設けています。	継続していきます。
	③4	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	既存の会などへの協力をしています。	継続していきます。
	③5	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	迅速な対応を心がけております。	継続していきます。
	③6	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月欠かさず通信を発行しています。また、別紙で予定表の提出もお願いしております。	継続していきます。
	③7	個人情報の取扱いに十分注意している	○	職員の規定を設けマニュアルも作成し実施しております。	継続していきます。
非常時等の対応	③8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	情報が伝達しやすいように視覚情報や紙面など個々に合った方法を取り入れてたりしています。	個別的な配慮と対応を心がけてまいります。
	③9	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	行事のお楽しみ会については地域の方の参加の呼びかけも行うこととしましたが、コロナ過で実現できていません。	開設後7年になったので今後どのような事業が可能か検討していきたいと考えています。
	④0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	実施しています。	継続していきます。
	④1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	実施しています。	地震火事など状況に合わせて実施しています。
	④2	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	契約時に聞き取りを実施し、状況が変わったときにはその都度確認しています。	継続していきます。
	④3	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約時に確認を行っています。	継続していきます。
	④4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	紙面での報告を義務とし、会議等で、報告しています。	紙面は、ファイリングしています。
④5	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	実施しています。	継続していきます。	
④6	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	実施しています。	継続していきます。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。